

当社の原子力発電所の状況

2019年2月
関西電力株式会社

目 次

1. 再稼動への取組み

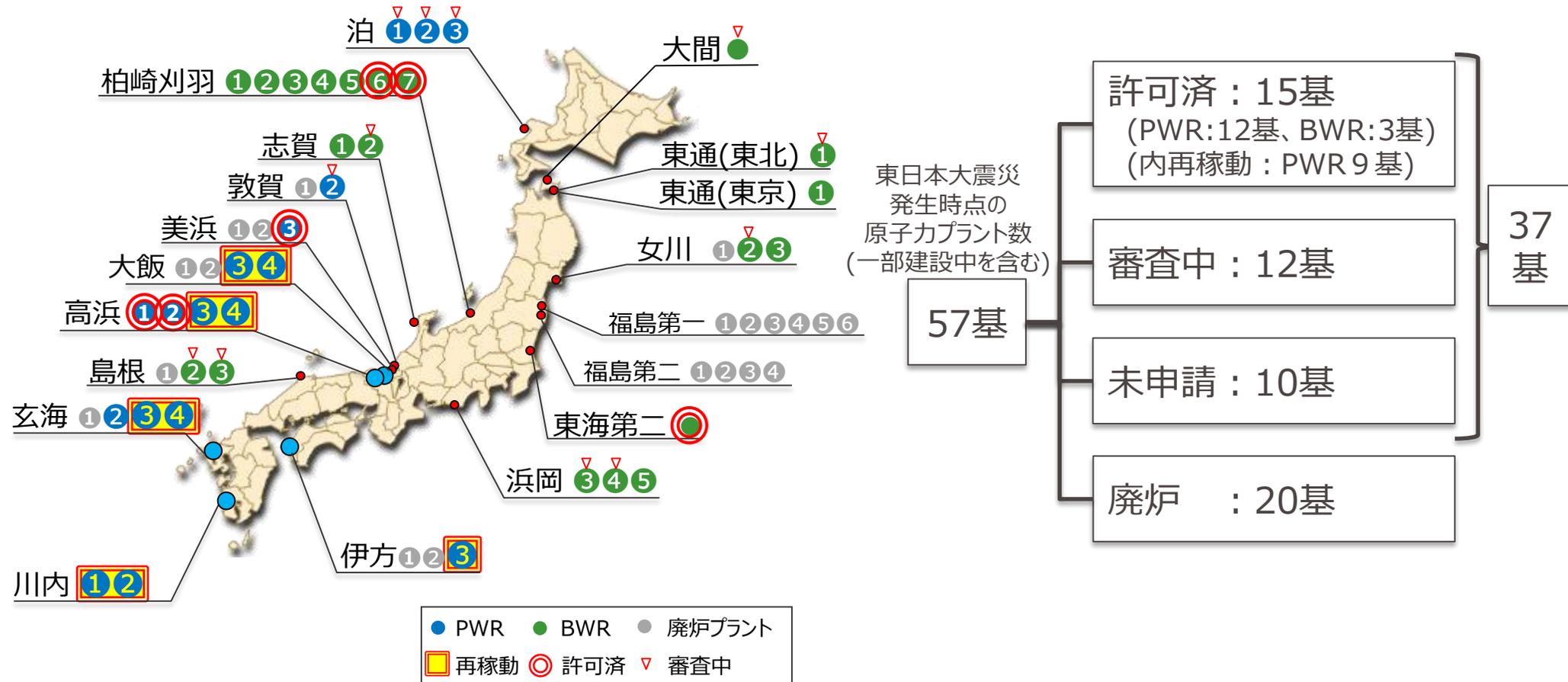
2. トピックス

(1) 美浜 1, 2 号機の廃止措置の状況

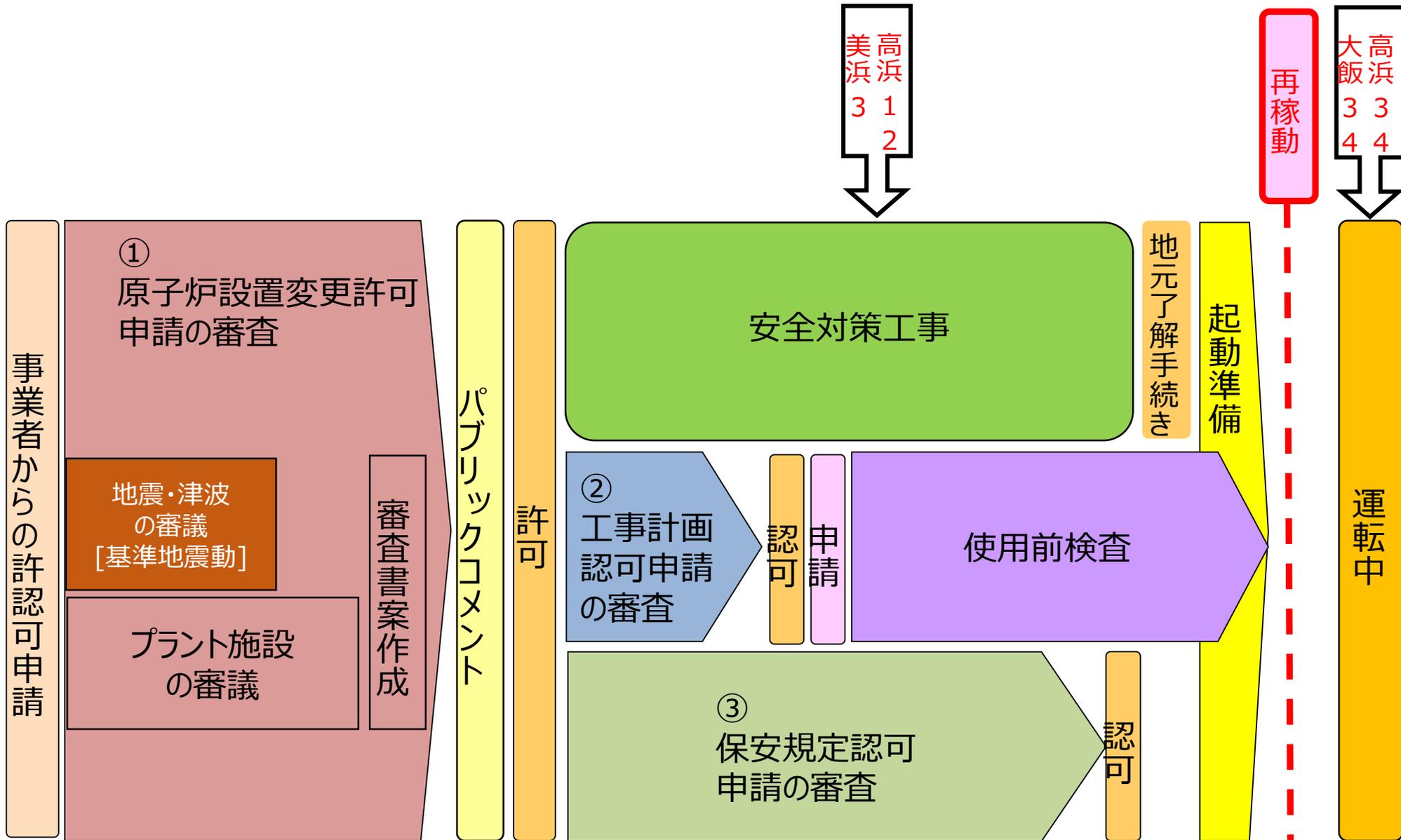
(2) 大飯 1, 2 号機の廃止措置の状況

3. まとめ

1. 再稼動への取組み



- 再稼動、許可済のプラント15基のうち、当社のプラントは約半数の7基。
- また、このうち40年を超える期間の運転を認められているプラントは4基。うち、当社では美浜3号機、高浜1,2号機の3基。



高浜 3, 4 号機、大飯 3, 4 の状況

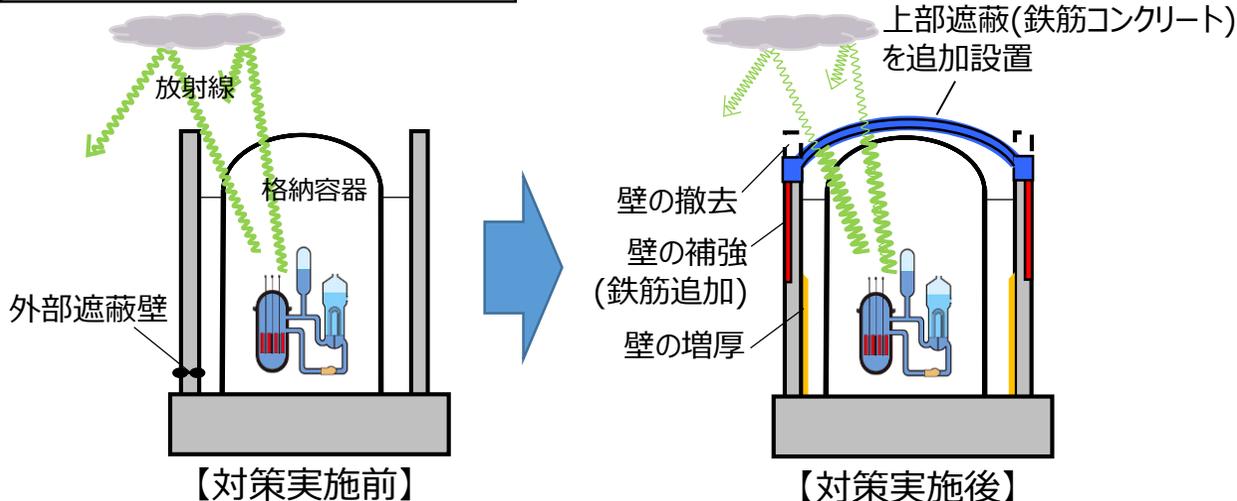
	2018年度		2019年度		2020年度	
高浜 3 号機	▼8/3 ▼11/9(12/7)		▼1月上旬		▽4月中旬 (5月上旬頃)	
	運転	定期検査	運転		定期検査	運転
高浜 4 号機	▼5/18 ▼9/3(9/28)		▼9月中旬		▽12月下旬 (1月中旬頃)	
	運転	定期検査	運転		定期検査	運転
					定期検査	
大飯 3 号機	▼(4/10)		▼4月中旬		▽6月下旬 (7月中旬頃)	
	運転		定期検査	運転		定期検査
					▽8月中旬	
大飯 4 号機	▼5/11(6/5)		▼7月上旬		▽9月中旬 (10月上旬頃)	
	定期検査	運転		定期検査	運転	
					▽11月上旬	
					▽1月下旬 (2月中旬頃)	

高浜 1, 2 号機の状況

- 再稼動に係る許認可審査、および運転期間延長に係る審査は完了している。
- 60年までの運転に向けた安全性向上対策工事を実施中。

	2016年度	2017年度	2018年度～
高浜 1, 2 号機	▼4/20 設置変更許可 ▼6/10 工事計画認可 ▼6/20 運転期間 延長認可	運転期間延長 認可期限 7/7 方針決定および 工事着手 9/8	1号機 ▽2020.5 2号機 ▽2021.1
	安全性向上対策工事 <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器上部遮蔽設置工事 ・燃料取替用水タンク取替工事 ・火災防護対策工事 ・中央制御盤取替工事 ・海水取水設備移設工事（2号機のみ） 		

格納容器上部遮蔽設置工事イメージ



格納容器上部遮蔽設置工事の状況
(2018.12時点)

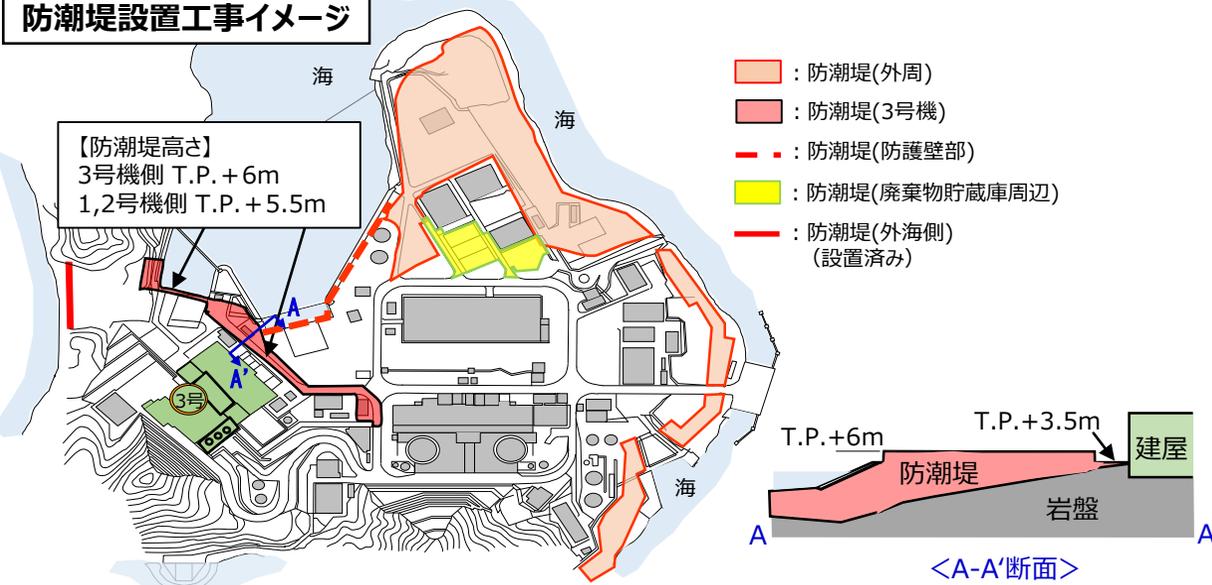


美浜 3 号機の状況

- 再稼動に係る許認可審査、および運転期間延長に係る審査は完了している。
- 60年までの運転に向けた安全性向上対策工事を実施中。

	2016年度	2017年度	2018年度～
美浜 3 号機	11/30 運転期間延長認可期限 ▼10/5 設置変更許可 ▼10/26 工事計画認可 ▼11/16 運転期間延長認可	方針決定および工事着手 6/8 ▼	▼2020.7 安全性向上対策工事
			<ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤設置工事 ・使用済燃料ピットラック取替工事 ・炉内構造物取替工事 ・燃料取替用水タンク取替工事 ・火災防護対策工事 ・中央制御盤取替工事

防潮堤設置工事イメージ



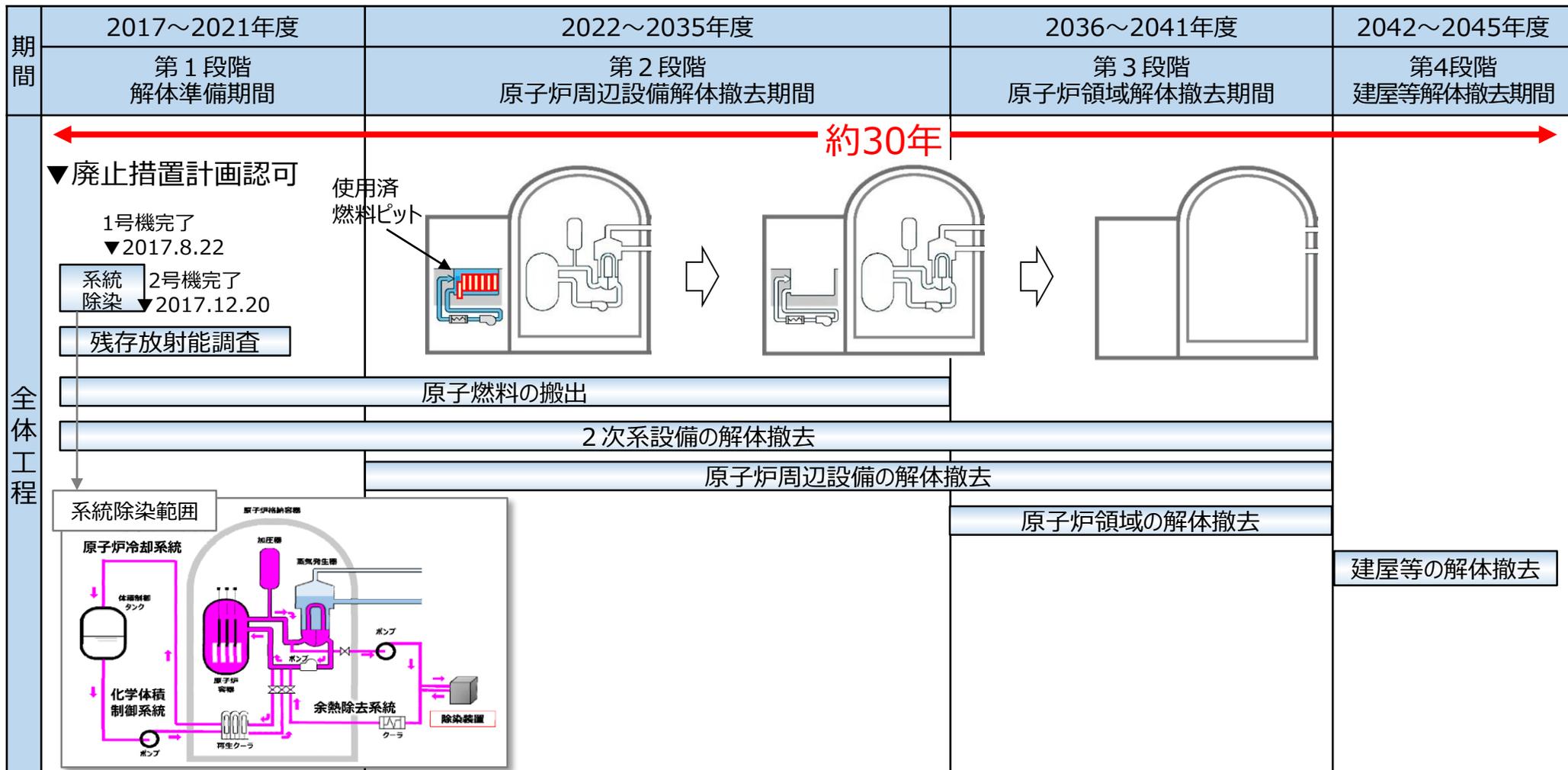
2. トピックス

- (1) 美浜 1, 2 号機の廃止措置の状況
- (2) 大飯 1, 2 号機の廃止措置の状況

(1) 美浜 1, 2号機の廃止措置の状況

- 2015年3月17日 廃止を決定し、同年4月27日をもって廃止
- 2016年2月12日 廃止措置計画認可申請
- 2017年4月19日 廃止措置計画認可

【廃止措置の全体工程】



- 2017年12月22日 廃止を決定し、2018年3月1日をもって廃止
- 2018年11月22日 廃止措置計画認可申請
- 廃止措置計画が認可となれば、以降、廃止措置に係る施設定期検査を9ヶ月ごとに実施し、設備の健全性を確認していく

【廃止措置の全体工程】

期間	2018（認可後）～2026年度	2027～2037年度	2038～2044年度	2045～2048年度
	第1段階 解体準備期間	第2段階 原子炉周辺設備解体撤去期間	第3段階 原子炉領域解体撤去期間	第4段階 建屋等解体撤去期間
全体工程	← 約30年 →			
	▽廃止措置計画認可			
	系統除染			
	残存放射能調査			
	原子燃料の搬出			
	2次系設備の解体撤去			
	原子炉周辺設備の解体撤去			
原子炉領域の解体撤去				
建屋等の解体撤去				

- 当社グループがこれまで事業を続けてこられたのは、お客さまや社会・地域の皆さまから賜る信頼のおかげであり、この信頼の源泉となるのが「安全」です。
- 高浜3,4号機、大飯3,4号機で、安全・安定運転の実績を一つひとつ積み重ねていきます。
- 廃止措置の実施にあたっては、必要な対策等を講じ、安全最優先で進めていきます。
- 当社は、引き続き、原子力における日本のリーディングカンパニーを目指し、原子力発電の安全性をたゆまず向上させていきます。